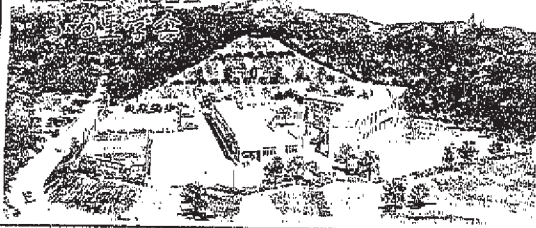


社会福祉法人 佑啓会

佑啓

発行 社会福祉法人 佑啓会
 ふる里学舎 〒0436-36-7611
 千葉県市原市今富 1410-1
 発行責任者 里見吉英



ふる里に想う

里見吉英

北国からは大地震、南国からは集中豪雨
 また遠く海の方からは大洪水と嫌な
 ニュースばかり耳に入る今日の頃、皆様
 いかにお過ごしでしょうか。この長閑な
 学舎にも少なからず影響を及ぼしているよ
 うです。寮生、職員とも寮内で過ごす時間
 が多くなり、若いエネルギーのやり場に困
 っているようです。また、できたての建物
 ということもあり、湿気の対策にも追われ
 ています。夏期県省に入ると同時に夏がや
 って来るといっても皮肉なものです。

さて「ふる里学舎」の名称について少々
 触れてみたいと思います。法人名「佑啓」
 の語彙については、前号で紹介されたとお
 り「たすけて開き導く」というかなり重い
 名前ですので、施設名は親しみやすいもの
 をとらなくては「ふる里」となりました。
 この言葉の響きは、皆様それぞれ違った思い
 があるでしょうが、共通しているのは、安
 らぎ・温かさというものではないでしょう
 か。

ここを利用する方達は、全員同じ理由、
 目的を持っているということはありません。
 ある人は家族がなく行き場のない方や
 日中は家庭でお世話する方がいないからと
 いう、家庭の事由が大きいケース、障害が
 重く家庭での生活が困難なケース、また社
 会に出る前段階として利用する方達等、様
 々です。細かく見ていきますと、六十名の
 方達、皆、異なった背景があります。その
 異なった環境で生活してきた方達と関係す

る人達(もちろん職員も含めて)が、この
 学舎を利用することにより、第二のふる里
 と感じていただければという思いで名付け
 られました。ご家族は「将来のこと
 を思うと気が重くなる。」という言葉を口
 にされます。これは、確かに障害者を持つ
 家庭でなければ、その重みは理解できない
 ものだと思います。知的障害の福祉に携わ
 って十数年、この命題は頭の隅から離れた
 ことはありません。現状でできること、ま
 た社会との接点を追いつめること、これを
 忘れることなく、その一助となればと願っ
 ています。

現在、知的障害者をとりまく環境は決し
 て充実しているとは言えないものがありま
 す。施設がオープンするとまるで椅子取り
 ゲームのような状態になってしまうことか
 らも伺えると思います。

決してきれいな事をいうつもりはありません
 が、彼等の長い人生といういろいろな形で向
 き合っている、そして家族の方職員も含
 めて、学舎の黄色い建物を思い浮かべてほ
 つとするような、また本当に行き詰まった
 時には、足を運べるようなそんな願いがこ
 められています。

先日、ある寮生(言葉はわずかしか持た
 ない)が無断で散歩に出かけてしまい、職
 員は慌てたのですが、偶然に出会った地域
 の方に「ふるさと、ふるさと」と言ったそ
 うです。その方は、すぐに「学舎の寮生だ
 な」と思い送って下さりました。その時あ
 るさという言葉の響きは、寮生にとって
 も身近なものだとほっとさせられまし
 た。

この学舎の建物は、山吹色とか菜の花
 色とかグリス色とかいろいろ表現されま
 す。以前評判になった映画「幸福の黄色い
 ハンカチ」を思い浮かべて下されば幸い
 です。

(ふる里学舎・施設長)

出会い

井上達雄

私と知的障害者をもつ方々との出会いは
 十年前、県庁を退職し千葉県社会福祉事業
 団に理事長として、赴任して以来のことと
 なります。長年、行政マンとして通して
 きましたが、福祉関係に携わるのは、初め
 てで、当初は、やはり戸惑いも多かったこ
 とを記憶しております。

そこで知り合ったのが、当時更生園長の
 古川さんやより更生園の指導員をしてお
 り、活発な職員集団の中にあつてとりわけ
 元気の良かった里見さんでした。

お二人とは、事業団退職後もお付き合い
 を続けて参りましたところ、ある日「新し
 い施設を作るので協力して欲しい」と打ち
 明けられ、突然の話で驚いたのですが、一
 時の思いつきで始めるのではないというこ
 とがわかり、二つ返事で準備委員として名
 を連ねることとなりました。かれこれ六年
 前のこととなります。その第一回の準備委
 員会の席でまた驚かされました。福祉関係
 からは、事業主、親、兄弟のそれぞれの立
 場と、そして法律、会計、建築、不動産の

分野で活躍されておられる専門家の方達が
 一同に会しての発足でした。事務局も里見
 さんを支える立場で、二股さん長良さんが
 担当することとなりました。これだけのメ
 ンバーが集まればきつとスムーズにことが
 運ぶと確信したのですが、その後の道程は
 皆様がご存じの様に山あり谷ありの苦闘の
 連続でありました。

しかしながら、当初からの委員はただの
 一人も脱落することもなく現在にいたって
 いるのも我々の誇りでもあります。その準
 備委員会も平成4年2月の法人設立と同時に
 無事解散し、八名が法人役員として佑啓
 会の運営に携わり、残った委員で後援会を
 組織し外部から応援してゆこうということ
 になりました。はからずも、私がその代表
 として現在組織づくりに励んでおります。
 今後はいろいろな形で、バックアップして
 ゆこうと考えておりますが何分にも、ふる
 り学舎同様、当後援会も歩み出したばかり
 です。趣旨に賛同される方を地道に増やし
 て行く段階にあります。

皆様からの暖かいご支援を心よりお待ち
 しております。

(ふる里学舎後援会・会長)

後援会・問い合わせ先

☎290-02

市原市今富1110-1

☎0436-36-7611

ふる里学舎内

ふる里学舎後援会・事務局

事務担当ノ三股

日本脳神経外科学会
専門医・医学博士 橋本隆裕

との無い方は多分ないでしょう。寝不足、一日酔い、風邪の時に頭が痛くなるように頭痛は非常に一般的な症状です。また、痛みの強さや性質の発現は人によりマチャマチャで、チクチク、ビリビリ、ズキンズキン、ガンガンなど数々上ればばきりがあります。頭痛の本体は何かと問われ頭痛がします。

痛い形容がなされる。この頭痛は誰でも時々起こる。したがって、それはよく知られたことである。しかし、それは頭蓋内出血に特有の頭痛と異なり、頭蓋内出血の頭痛は、頭蓋内出血の部位に依り、その性質も異なる。頭蓋内出血の頭痛は、頭蓋内出血の部位に依り、その性質も異なる。頭蓋内出血の頭痛は、頭蓋内出血の部位に依り、その性質も異なる。



小五里乡、明伦区

でも、実のところ原因の明らかな頭痛は非常に限られています。ほとんどは脳の病気が直接関係のないことが多いのです。その中には早く検査や治療をしなくてはならない頭痛もあり、注意が必要です。以下にいろいろな頭痛について簡単に述べます。

まず、かなりの方が訴えらる見のかたははならない頭痛の代表は、脳の血管にコブができて、そのコブが破れて起こるクモ膜下出血の頭痛です。襲う恐い病気として知られています。出血時の痛みは突然起こり、これまでに経験したことのないように耐え難い、何から發られたようにガンと

新本松竹外平タリニツク脱是

獲護施設などに入る知的障害者らのスポーツ大会（県など主催）が二十八日、千葉市稲毛区の県総合



市内で体が不
 自由な人など
 の大会は例年
 あるが、相対
 障害者の大会
 は初めて。少
 年・青年・社
 会人の三部門
 に出場した。
 約五十人、三
 十人、二十人
 の選手が参加
 した。
 この日の午

近頃、障がい
 者が増え、
 障がい者

日誌

栗市の最高気温は二十八・二
 度と今年最尚の記録。明る
 い日差しのもと、学生たち
 を応援する声があふく中、
 ら盛んに行っている。
 市原市の「さくら」選手
 からは、大会員がおそろ
 いの黄色いシャツを着用し
 少年の部の五中、林姓に参
 加した一人は、正しい記録が
 出た。うれしく、口を言ん

日新聞 5/29 朝刊

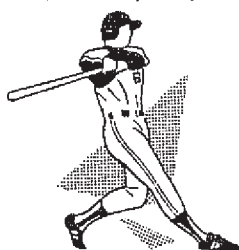
朝日新聞 5/29 五社新聞

第1回精神薄弱者スポーツ大会参加

115, 5, 28

僕が学会に参つ

僕は、学舎にきた。前は、子供の園にいた。前の先生は、大人は作業ばかりやると言つた。学舎にきたら、すぐに運動会の選手になつた。黄色のかつこいい、ユニホームを買つてくれた。車で千巻のない運動場に行つた。一生懸命に走つた。楽しかつた。



② 編集後記 . . .

夏の甲子園其盛り、でもいまひとつ盛り足りないのは、天候のせいばかりでしょうか。不景気風を吹き飛ばそうと編集委員もうでまくり。第2号のてきはいかがでしょうか。創刊号ではワープロの落とし穴ともいふべき誤字脱字が多く、反省させられました。感想等をお聞かせいただければ幸いです。

ここに第2号をお送りいたします。

三股 金利

開所記念パーティーに参加して

——入所してからのお前の想い—— 落合 幸子

卷合 幸子

四月十二日の朝、道子は新たな一歩を踏み出しました。当日、入所の手續が終わり、施設の後に行く時は、さすがに何やら寂しいものを感じずにはいられませんでした。本人は何もわからなない様子で、指導員の方には促されながら歩くその後ろ姿がいくつにもかすんで見えてきました。

数日後、学舎から事務上の電話が入りました。毎日日記しているながらも、標字を聞く勇氣もなく、「お母さんも寂しいけど、あなたも頑張っているのよよね」と自分に言い聞かせながら、そのまま電話を置いてしまいました。

そして数日後、待ちに待った第一回目の定期帰省。二階で小さい体ながら、大きな顔をして仲間と戯れる姿を見て、主人共々安堵致しました。



ふる里学生会関係者一同が集まるのは始めてのこと。乾杯が済むと張り詰めた心も和み、道千里のうちのなかがじつぱいになり歌にあわせて得意の船漕ぎポーズがでました。これが出ると自分の世界に入り込み何を言っても無視の状態になります。心暖まるパーティーが終了し、子供たちは明日から畑仕事が待っています。思われた環境の中で力強く生活して欲しいという願いを胸に学生会を出していました。

最後に、二百名近くの盛大なパーティーを準備して下さった職員の皆様や、ボランティアの方々は、大変な労力を費やしたことをお察しいたします。有難うございました。

学舎トビツクス

寮生全員が待ちに待ったマザー牧場への日帰り旅行の日がやってきました。外は生憎の雨模様でしたが皆替えをし、リュックを手にする寮生の表情は皆、晴天そのものでした。

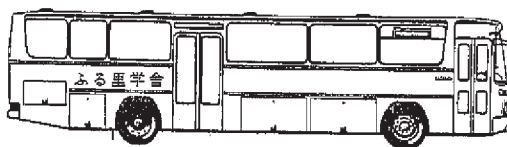
た寮生の中には興奮を抑えきれない人、少し緊張気味な星学舎第一回めのバス旅行、バスに乗り込んだ時にはいつの間にかカラオケ大会が始まるほどの熱気がバス内を盛り上げました。

目的地のマザー牧場に着く頃には、皆の熱気が天に通じたのか、嘘のように雨も上がり、牧場散策には充分な天候となりました。

量、食はジーンズスカン。どの衆生も真つ先に肉を食へ始めます。焼いては食へ、焼いては食へと思つく暇もなく、近くで食へていた別のグループの方が、「どうぞ、」と肉を分けてくれる一場面が見られるほどでした。

満腹気分のおとはは遊行動。買物をする人やアイスクリームを食べる人、乳絞りをする人など、それぞれ楽しい時間を過ごしました。霧の中の観覧車や楽しみにしていた子ブタのレースの中止など、残念な一面もありましたが、皆の楽しそうな笑顔はまるで初夏の爽やかな日差しを思わせるすがすがしいものでした。

日帰り旅行 (マザー牧場)



佐藤 正明